


 展覧会

 エイブルアート
2008

「Life Map ～コダワリノトキ コダワリノバショ～」

今年のエイブルアート 関連企画が決定！

わけもなく好きで好きでしようがない、これをやり出すと止まらない。
この展覧会では、ある5人の「こだわり」を見せていきます。
その人のごく私的な世界、他の人が見てもよく分からない。よく分からないけど何か引っかかる。
そのひっかかりに向き合う時間を、体験してみてください。

【会期】 2月16日（土）～3月30日（日） 10:00～20:00 ※無休 ※入場無料

【関連企画】

展示ワークショップ 3/1(土)13:00～17:00 定員：15名

ファシリテーター：竹口浩司（福岡県立美術館学芸員）/鬼本佳代子（福岡市美術館学芸員）
中尾智路（福岡アジア美術館学芸員）

カフェトーク 3/8(土)15:00～17:00 定員：40名

発表者：ホシノマサハル（コミュニティアーティスト）/津田三朗（造形作家）
進行：樋口龍二（NPO法人まる 代表理事）

鑑賞ワークショップ 3/9(日)13:00～15:00 定員：15名

ファシリテーター：ギャラリーコンパ、ホシノマサハル

クロージングパーティー 3/30(日)16:00～18:00 定員：30名

※いずれも要予約。定員になり次第締切。



学芸員による展示ワークショップや
コミュニケーションを通じた鑑賞ワークショップは、超おすすめです！

文化芸術情報館 アートリエ/「エイブルアート2008」に関するお問い合わせ 宮崎
TEL:092-281-0081 FAX:092-281-0114 E-mail:plaza-a@ffac.or.jp


 展覧会

 ギャラリーアートリエ
2008

大浦 こころ個展 「こころの動き」

アーティストによる公開壁画制作中！展示は変化し続けます！

見る人の意識の奥から「もう一人の自分」を呼び覚ますような絵画作品による瞑想空間。

【会期】 1月12日（土）～2月11日（月・祝）10:00～20:00 ※無休 ※入場無料

【主催】（財）福岡市文化芸術振興財団

【企画】 ミュージアム・シティ・プロジェクト

【アーティスト】大浦こころ 【キュレーション】 花田伸一

【ギャラリーブログ】<http://gaartlier.exblog.jp/>

ギャラリーアートリエは「ミュージアム・シティ・プロジェクト」がプロデュースしています。
TEL/FAX 092-282-0553 e-mail:mcpfukuoka@gmail.com



舞台

福岡演劇フェスティバル・FFAC企画 創作コンペティション

「1つの戯曲からの創作をとおして語ろう！」Competition Stage (上演審査)

1月19日(土)に実施されたプレゼン審査の結果、Competition Stage (上演審査)で上演する3団体が以下のとおり、決定しました。

劇団ぎゃ。(福岡)
非・売れ線系ビーナス(福岡)
M. M. S. T(東京)



非・売れ線系ビーナスによるプレゼンの様子

【上演審査】 プランを基に創作された作品の上演審査になります。観客による投票による観客賞と3月27日(木)上演終了後、公開審査会により最優秀作品賞が決定します。

【日時】 2008年3月26日(水)19時開演/27日(木)18時開演

【会場】 ぽんプラザホール(福岡市博多区祇園町8-3)

【上演回数】 2回(各団体1日1回)

【入場券】 前売 1,000円/当日 1,200円

【チケット取扱い】 (財)福岡市文化芸術振興財団 TEL:092-263-6266 Eメール:plan-e@ffac.or.jp
メガチケットアートリエ(店頭販売のみ/TEL:092-281-0103)

福岡演劇フェスティバル・FFAC企画創作コンペティション 『1つの戯曲からの創作をとおして語ろう!』とは?

創作コンペティションは活動者の支援事業の一環として、演劇人、特に創作の主導者として集団のリーダーの役割である演出家の育成と発掘を目的に企画いたしました。

岸田國士作「紙風船」を課題戯曲とし、演出に特化して、応募各団体に創作、上演に取り組んでいただきます。書類審査→プレゼン審査→上演審査を経て、最優秀作品賞を決定します。



全国から公募した3団体による競作!?上演です。
1つの戯曲から色々な趣向の作品が生まれそうですよ!

「1つの戯曲からの創作をとおして語ろう!」に関するお問い合わせ 活動支援係・高橋
TEL:092-263-6266 FAX:092-263-6259 E-mail: plan-e@ffac.or.jp

市民
芸術

第45回福岡市民芸術祭 参加行事募集中!

福岡市民芸術祭は、文化活動をされている方々の発表の場として、また、身近で優れた文化に接していただく場として、今年で45回目を迎える市民の手による芸術の祭典です。この芸術祭の参加行事を下記のとおり募集します。

【参加対象団体】 活動拠点を福岡市内におき、代表者が福岡都市圏に居住している団体。

【参加対象の行事】 平成20年9月28日(日)から12月7日(日)の期間に福岡市内の会場で公開されるもので、福岡市民芸術祭にふさわしい意欲的な行事であるもの。

【部門】 邦楽/邦舞/民謡・民舞/洋楽/洋舞/演劇/演芸/文芸/
映像(映画・ビデオ)/華道/茶道/美術/その他

【申込み方法】 参加を希望する団体(個人は不可)は、所定の申込用紙でお申し込み下さい。
※申込用紙は当財団にあります。また当財団HPよりダウンロードできます。

【参加の決定】 参加申込み行事について、実行委員会で審査の上、参加の可否を決定し、その結果を3月下旬に申込み団体に通知します。

【申込先】 〒812-0027福岡市博多区下川端町3-1博多リバレインセンタービル9F(財)福岡市文化芸術振興財団内
福岡市民芸術祭実行委員会事務局「福岡市民芸術祭参加行事」係

申込締切
2月8日(金)

「福岡市民芸術祭」に関するお問い合わせ 事業係・藤
TEL:092-263-6265 FAX:092-263-6259 E-mail: plan-b@ffac.or.jp

ダンス 福岡FRINGEフェスティバル「ダンスの発火点」開催！

「ダンスアーティストとしてのスキルアップ・ブラッシュアップ」、「ダンサー同士の交流の場」、「ダンスと異ジャンル(舞台・照明・音響・映像・美術など)との交流の場」など、地域社会でダンスが育まれる場としてのFRINGE公演を行います。

【開催日時】 2月3日(日) 14:00~17:30 (エントリーされた作品がつつぎ上演されます)

【会場】 大博多ホール(福岡市博多区博多駅前2丁目20-1大博多ビル12F)

【料金】 一般前売1,500円・当日2,000円/学生前売1,000円・当日1,500円

お問い合わせ: 福岡FRINGEフェスティバル事務局

■ダンスコミュニケーションCo. D. Ex: スウェイン

TEL: 080-5202-1837/Eメール: codex7000@yahoo.co.jp

■(財)福岡市文化芸術振興財団 事業係: 吉村

TEL: 092-263-6265/FAX: 092-263-6259/Eメール: art-co@ffac.or.jp

ダンス 波に乗れ! ダンス波 '07 ~アジア・コンテンポラリーダンス・ナウ!~

年々注目度を増す「コンテンポラリーダンス」。その多種多様さを紹介する「ダンス波」シリーズでは、日本を含むアジア5ヶ国から注目のダンスアーティストをご紹介します。欧米とは異なる多様な文化を背景に自分だけのオリジナルな新しいダンス=「コンテンポラリーダンス」を作りだしているアジアの若いアーティストの作品を一堂にご覧いただけます。公演をさらに楽しむために関連企画もあわせてご参加ください。



武藤大祐

《関連企画☆レクチャー》

アジアのコンテンポラリーダンス ~今何が起きているのか

日時: 2月8日(金) 19:00~ 料金: 500円

会場: あじびホール(福岡市博多区下川端町3-1-8 F福岡アジア美術館内)

講師: 武藤大祐(ダンス批評家、桜美林大学非常勤講師、Dance Asia)

ゲスト: 水野立子(NPO法人JCDN アーティスティック・ディレクター)

《公演》

日時: 2月23日(土) 開場18:30 開演19:00
24日(日) 開場14:30 開演15:00

会場: ぽんプラザホール(博多区祇園町8-3)

料金: 一般=前売2500円/当日3000円

学生=前売1500円/当日2000円 ※全席自由

出演: ピチェ・クランチェン [タイ]

ジェコ・シオンポ [インドネシア]

アバ・モーリーン・ピラヌエバ [フィリピン]

三浦宏之 [日本]

チョン・ヨンドウ [韓国]



<上段左から>

ピチェ・クランチェン (photo:Edmund Low)

三浦宏之 (M-laboratory) (photo:Sakae Oguma)

チョン・ヨンドウ (photo:KIM, TAE-EUN)

<下段左から>

アバ・モーリーン・ピラヌエバ

ジェコ・シオンポ

《関連企画☆ピチェ・クランチェンによる5日間のワークショップ》

期間: 2月25日(月)~29日(金) 19:00~21:30

会場: 福岡市民会館練習室C(福岡市中央区天神5丁目1-23)

講師: ピチェ・クランチェン(振付家/ダンサー) [タイ]

定員: 20名 参加料: 5,000円(通し) ※要申込



去年、演劇「ARASHI」の振付を担当した三浦さん、今年10月「博多灯明ウォッチング」でワークショップを行ったヨンドウさん、今回は自身の作品を持って、再来福です!

「福岡FRINGEフェスティバル」「波に乗れ!ダンス波」に関するお問い合わせ 事業係・吉村

TEL:092-263-6265 FAX:092-263-6259 E-mail:art-co@ffac.or.jp

ダンス

2007福岡舞台芸術シリーズ
平成19年度文化庁 舞台芸術の魅力発見事業

[It is written there]

手にした本の「言葉」が踊る 舞台の上の「身体」が語る
——すべては、そこに書いてある

昨年度の「踊りに行くぜ!!」福岡公演では納谷衣美とのデュオで観客を沸かせた山下残がいよいよカンパニー作品を携えて福岡初公演を行います。来場者全員に100ページにおよぶ冊子を配布し、それを一枚一枚めくりながら作品を進行させる『そこに書いてある』（初演：2002年3月伊丹アイホール）を、京都芸術センター演劇製作事業「演劇計画2007」の委嘱によって6年ぶりにリメイク、出演者も新たに発表します。「言葉」と「身体」をテーマに長年創作活動を行ってきた山下残。ダンスの既成概念が問い直される刺激的な体験にご期待ください。



演劇計画2006『動物の演劇』 撮影：平野愛

【構成・振付・演出】山下残 【ブックデザイン】納谷衣美

【出演】荒木瑞穂、今貂子、西嶋明子、福留麻里、森下真樹

【日時】3月15日（土）19:00開演／16日（日）15:00開演 *15日終演後、ポストパフォーマンストークを開催予定

【会場】ゆめアール大橋 大練習室（福岡市南区大橋1-3-25）

【料金】一般2,500円（当日2,800円）／学生〔中学生以上〕：1,500円（当日1,800円）／

こども〔小学生〕：500円（当日800円）*全席自由 *学生、こどもチケットは財団電話予約のみの取扱い。

【チケット取扱】

- ・財団ウェブサイト <http://www.ffac.or.jp/>
- ・メガチケットアトリエ（店頭販売のみ 10：00～20：00）
- ・電子チケットぴあ [Pコード：382-248]
- ・ローソンチケット [Lコード：89622]

☆関連ワークショップ「言葉と身体」

公演に先立ち、山下残による創作ワークショップを3月11日（火）、12日（水）に開催！



山下残の鬼才っぷりも見モノですが、実は出演者もスゴイ顔ぶれなんです。

「It is written there」公演に関するお問い合わせ 事業係・入江
TEL:092-263-6265 FAX:092-263-6259 E-mail: plan-d@ffac.or.jp

WS

子ども達芸術活動事業

「音を創るワークショップ」〈2008年春休み企画〉参加者募集！

楽器が弾けなくても大丈夫！ まず「音」を出すことから始めます。決められた楽曲を演奏するのではなく、「音」を創造する楽しさを体感できるワークショップです。

申込締切
3月11日（火）
郵送の場合
消印有効

【日時】3月26日（水）～29日（土）13:00～16:00（予定）

【場所】パピオビールーム大練習室（福岡市博多区千代1丁目15番30号地下1階）

※4日間連続で開催します。最終日29日（土）は発表会です（観覧無料）。

【講師】



内橋和久（ギタリスト、作曲家）※平成18年度「FUKUOKAの音を創るワークショップ」講師です。

昨年度の受講生が、子ども達をサポートするスタッフとして参加します。

講師からのメッセージ

楽器を持っている人は持ってきてもらってもかまいません。楽器を持っていない人でも大丈夫。音のなるものはいっぱいあります。みんなで楽器をつくるのも楽しいね。音楽って音を楽しむって書くだね。まず何も考えずに音を出してみよう。

【対象・定員】小学生 30名程度（定員を超えた場合は抽選）

【参加料】3,000円（含レクリエーション保険料）

※申込み方法等、詳細は別紙チラシをご覧ください。



即興演奏という手法こそ子ども達の自由な発想を「音」にするのには最適です。どんな「音」ができるのか楽しみです！

「音を創るワークショップ」に関するお問い合わせ 「子ども達芸術活動事業」実行委員会事務局 担当・定松
TEL:092-263-6265 FAX:092-263-6259 E-mail: plan-ab@ffac.or.jp

ワーク
ショップ

あけましておめでとう！ 若久小学校の演劇ワークショップ 後半がスタート！

若久小学校4年生3クラスを対象に昨年10月から行っている演劇ワークショップ。冬休み、お正月を挟んで約1ヶ月ぶりに再会した子ども達はなんだか少しオトナになった様子。

再開第一弾、1月17日（木）に実施した「君もダンサー 踊らずにダンス！」のテーマはズバリ「踊る」。ひとつのポーズや動きから言葉を連想し、またその言葉から次のポーズや動きを創る……それを何度か繰り返して最後に繋げてみると、あら不思議！ダンス作品ができている！はじめはダンスなんてできな一とぼやいていた子ども達の表情が生き生きと楽しそうです。

みんなダンサーになれたのだから、次は役者をやらないとね。ということで次のテーマは「役者になろう！」（1月28日（月）実施）。本物のみかんをよく観察し、それを食べ、そして今度は存在しないみかんを食べてみます。すると……みかんが本当にそこにあるように見える名演技が続出！自分の行動にほんの少し意識的になってみるだけで誰でも「演技」はできるんだ、と役者の入口に一步足を踏み入れた子ども達でした。

実施概要

- ▼実施校：若久小学校（南区若久1丁目）
- ▼対象人数：4年生3クラス 112名
- ▼対象授業：総合的な学習の時間（90分×10回）
- ▼ファシリテーター
山田恵理香（空間再生事業劇団GIGA）
高山力造（village80%）
古賀今日子（ギンギラ太陽's、che carino!/che carina!）

▼実施スケジュール *お試しワークショップ、発表を含む全10回

【お試しワークショップ】

①10月18日（木） **終了！**

【ワークショップ】

②10月29日（月）③11月15日（木）④11月29日（木） **終了！**

⑤12月13日（木）⑥1月17日（木）⑦1月28日（月）



☆1/17のワークショップより



☆1/28 みかんを食べる“名演技”続出！

これからのワークショップ・・・

⑧2月7日（木）⑨2月21日（木）

⑩発表：2月25日（月）もしくは28日（木）

*発表の日時は決まり次第お知らせします。

【実施時間】

①1クラス目 09:15~10:45

②2クラス目 11:05~12:35 ③3クラス目 14:00~15:30

*各クラス1回90分 *クラスの順番は毎回変わります。

- ▼主催：「子ども達芸術活動事業」実行委員会・福岡市・福岡市教育委員会・（財）福岡市文化芸術振興財団
- ▼助成：文化庁 平成19年度文化芸術による創造のまち支援事業
- ▼企画協力：世田谷パブリックシアター

★ご取材・ご見学を希望される方へお願い

ご取材、ご見学を希望される方は【日時】【お名前】【ご所属】を、下記問い合わせ先までお知らせください。当日は会場に直接お越しいただきますが、入校には来校者証が必要ですので必ず前日までにご連絡ください。



子ども達の体から溢れる思いもよらない表現に たただだビックリ！

「若久小学校での演劇ワークショップ」に関するお問い合わせ 事業係・入江

TEL:092-263-6265 FAX:092-263-6259 E-mail:plan-d@ffac.or.jp